

S 社会

事業所紹介

金沢工場

所在地：石川県白山市松本町1600-1

設立：昭和56年6月

従業員：252名(2024年11月現在)

主力製品：半導体用材料、塗料・粘着材料樹脂原料 など



事業所紹介



榮村 茂二

金沢工場長

当工場は、1981(昭和56)年に当社の第2工場として操業を開始し、現在では当社の主力工場にまで成長しました。工場から望む霊峰白山の恵みによる地下水を有効に活用しながら生産活動を拡大し、最先端の技術を駆使して事業を通じた社会貢献を目指しています。

また、省エネルギーや環境負荷の低減に向けて、生産プロセスの改善をはじめ、省エネルギー機器の導入、再生可能エネルギーの活用などの取り組みを積極的に進めることで、持続可能なものづくりを追求しています。

さらには、地域におけるさまざまな社会貢献活動を通じて、地域の皆様と交流を深めています。

地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

白山水源の森づくり事業

白山市より2010年に植樹の話をいただき、『白山水源の森づくり事業』として協定を締結し、2010年から15年間継続して活動が続けさせていただいています。これまでの植林数は1,000本を超え、木々も大きく成長し、微力ながら、水源涵養や土砂災害の防止に貢献してきました。



松本工業団地一斉清掃

年2回の白山市クリーン作戦に合わせ、松本工業団地一斉清掃を行っています。本年度も当社から5月に21名、10月20名が参加し、共用施設の公園や側溝などの掃除を行いました。



災害時における一時避難所に関する協定

笠間地区(当社社宅の所在地)において大規模災害が発生した際の一時避難場所として、当社社宅屋上を地域の方々へ使用していただくための協定を締結しました。



事業所紹介

酒田工場

所在地：山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23
設立：平成12年7月
従業員：41名(2024年11月現在)
主力製品：液晶表示材パターン形成材料、化粧品材料、塗料樹脂原料 など



事業所紹介



秋田 秀一
酒田工場長

酒田工場は山形県と秋田県の県境に位置する鳥海山の麓、遊佐町で2000(平成12)年7月より当社の第3工場として操業を開始し、今年で25周年を迎えることになりました。114,000㎡と当社でもっとも広い敷地を有した工場になります。工場のある鳥海南工業団地(事業主体:山形県)は、海拔20.8mの高台に位置し、自然災害リスクの少ないエリアにあります。緑豊かな庄内平野において、数少ない化学メーカーでもあるため、労使一体となってISO140001の取り組みから、環境負荷の低減や省エネルギーを意識したもののづくりを追求するとともに、ISO45001を取得し安全を最優先にした働きやすい職場環境づくりに日夜取り組んでいます。また、生物多様性の観点からクロマツの枝打ちや下草刈りといった森林整備活動、海岸清掃や工場周囲の清掃と、社会貢献活動にも積極的に取り組み、近隣地域の皆様と交流を深めて、共存共栄を進めています。

地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

社会貢献事業「庄内海岸クリーンアップ活動」

廃プラスチック類による海洋汚染やマイクロプラスチック問題を考えるきっかけとして、山形県環境保全協議会主催の社会貢献事業「庄内海岸クリーンアップ活動 鶴岡市由良海岸」に参加しました。海に流れ着くゴミの7〜8割は陸からのゴミといわれており、当日は山形県内陸地方の方も大勢参加されていました。「スポGOMI(クリーンアップ活動)」と称してポイント制で10チームほどが競い合い、当社参加のチームが優勝を収めました。



社会貢献事業「森林整備活動」

山形県環境保全協議会主催の社会貢献事業「森林整備活動」として、酒田市飯森山西地区保安林の下草刈りのボランティアに参加しました。関係者含め10名ほどの参加でしたが、200㎡ほどのエリアの下草刈りを行いました。



工場周辺クリーン作戦

工場周囲のゴミ拾いを実施しました。従業員・関係者総勢12名で工場境界の歩道を中心に活動。一般的な空き缶やペットボトルなどのゴミもありましたが、大半は松葉の回収作業でした。



遊佐町役場 感謝状(赤十字献血推進事業)拝受

長年にわたり、赤十字献血推進事業の一環として、当工場で献血バスを受入れ、鳥海南工業団地各社からも来場いただき、献血を推進してきたことが評価され、遊佐町を通して日本赤十字社山形県支部より感謝状を拝受いたしました。



遊佐町・酒田市 大雨災害義援金 贈呈

2024年7月25日(木)に発生した大雨により、遊佐町・酒田市では河川の氾濫、土砂崩れ、冠水、床上・床下浸水と甚大な被害が発生しました。この豪雨災害から早期復旧・復興を願い、当社より遊佐町・酒田市へ義援金を贈呈しました。



事業所紹介

大阪事業所

所在地：大阪府柏原市片山町18番8号

設立：昭和36年7月

従業員：47名（2024年11月現在）
（大阪研究所・先進技術研究所含む）



事業所紹介



卯津羅 浩

大阪事業所長

大阪事業所は1961（昭和36）年より柏原工場として柏原市片山町で操業を開始し、当社の経営基盤を築いた工場でした。敷地面積は27,000㎡で最盛時の従業員数は140名程度を擁し交代勤務で生産活動に従事していました。その後、金沢工場・酒田工場と生産拠点を拡充し、柏原工場は2005年に大阪工場と改名後、生産設備の縮小にともない、2015年からは大阪事業所へと名称を変更し現在に至っています。従来は化学品の生産拠点としての安全や環境に配慮し万全の態勢で事業に臨んでいました。現在では再整備により生産設備を大幅に縮小し危険物の取扱量が激減していますが、従来と同様の安全や環境への取り組みを継続しています。今後は、西日本の物流拠点と情報集約型の研究所を備えたハイブリッド型事業所として事業展開を進めます。今後も地域活動への参加を通じて共生していければと思っています。

地域との関わり（事業所のある地域への貢献）

大和川・石川クリーン作戦

大和川・石川流域の水質改善を目的とした河川清掃活動が2024年3月に実施され、当社の従業員も多数参加し大和川河川敷のゴミを回収しました。



柏羽藤消防本部 練成会

消防技術の向上を目的として開催され、管轄内の事業所から24チームが参加されました。当社からは小型ポンプの部に参加し、日々の消火操法の成果を発揮しました。



玉手地区秋祭り

地域の秋祭りの催しで周辺地区の交流の場として構内の一部を開放し、だんじりの行進と太鼓演奏が行われました。



柏原市商工会防犯協会ソフトボール大会

柏原市商工会主催のソフトボール大会に参加しました。



グループ企業紹介

神港有機化学工業株式会社

所在地：神戸市東灘区住吉浜町18-26

設立：昭和44年4月

従業員：51名(2024年11月現在)

主力製品：電子材料用溶剤、化粧品材料、塗料/接着剤溶剤 など



事業所紹介



松本 純一

神港有機化学工業 代表取締役

神港有機化学は神戸市東灘区の臨海地区に所在しています。操業以来培ってきた製造技術と港湾都市神戸の海運と高速道路網を活用して各種化成品を国内外に供給するとともに、神戸市区域の市民防災との協調や環境活動を推進する県下団体の応援や、グリーン電力の積極活用を行い、環境と社会に貢献できる会社を目指しています。

地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

地域防災訓練参加

市民防災力強化と阪神淡路大震災で得た教訓の伝承を目的に、東灘区の各消防団、事業所自営消防団の一斉放水訓練に参加しています。



石川県への震災義援金

2024年1月1日に発生した能登半島地震の復興を願い石川県へ義援金を提供いたしました。一日も早い復興を願うばかりです。

小学校への新聞掲示板寄贈

地域の子どもたちがニュースに触れる機会を設けるため小学校にニュース掲示板を寄贈しました。将来をにう子どもたちが多様な情報に触れ、豊かな成長の一助になればと考えています。



近隣事業所合同一斉清掃

「工場は、地域の一員」の考えのもと、工場が立地する東灘区第二工区の事業所と合同で、一斉清掃活動を行いました。



グループ企業紹介

光碩(上海)化工貿易
有限公司

所在地：上海市長寧区延安西路2299号2801室

設立：平成26年1月

従業員：6名(2024年11月現在)

主な事業内容：有機化学薬品関連商材の貿易・販売等



事業所紹介



前田 章吾

光碩(上海)化工貿易
総経理

光碩(上海)化工貿易有限公司(以下、当社)で総経理を務めさせていただいています前田です。2020年2月に上海に赴任し2025年2月で6年目になります。当社は2014年1月15日に上海市長寧区に設立し、今年で10周年を迎えました。

従業員は日本人駐在員が2名、現地スタッフが4名、計6名体制です。現地スタッフは4名中3名が営業を担当しています。さらに全員日本語が堪能で日本留学経験もあり日本文化への理解も深く、中国とのビジネスにおける文化の違いなどを分かりやすく日本人駐在員に教えてくれます。

業務内容は大阪有機で製造した製品の輸入販売と、現地OEM生産品の販売を主としています。設立当初は、粘着剤・塗料原料向けにアクリル酸エステル類を中心に販売を行っていました。2019年からは化粧品向け原料の取り扱いをはじめ

めました。さらに2023年より半導体向け原料の販売を開始し、現在では大阪有機が取り扱っているほぼすべての製品を中国市場へ展開しています。お客様は日本から中国へ進出した日系および中国ローカル企業です。

上海を拠点とし北は黒竜江省、南は広東省と販路を拡大してきました。2022年には世界的に流行したコロナウイルスにより上海市自体が2か月間ロックダウン下におかれるなど波乱含みの情勢下ではございましたが、2023年、2024年と順調に売上を増やしてきました。2025年以降は中国不動産不況、米中貿易戦争など厳しい局面が予想されていますが、世界第2位のGDPを持つ大きな市場であり、魅力的な市場であることは間違いありません。当社従業員一丸となって困難な局面を乗り越えていきたいと考えています。

地域との関わり

上海日本商工クラブ 資源・化学品部会

年2回の総会と年2回のセミナーに参加しています。上海に進出している多くの日系化学品メーカーが参加しています。総会では各社との面識作りや情報交換を行い、セミナーでは中国ビジネスにおける市況やリスク関連の知識を得ています。

上海日本商工クラブ 資源・化学品部会
化学品法制分科会

資源・化学品部会の下部会(化学品法制分科会)に参加しています。年3〜4回開催され、最新の法規(一般化学品や危険化学品)、規制等の情報共有、市政府への上申案件の回答など化学品を取り扱うにあたり重要な会となっています。



第156回華化会ゴルフコンペ

化学関係の日系企業が集まり毎年4回ゴルフコンペが開催されています。今年で156回を数える歴史のある会です。参加者は毎回60〜80名と上海、蘇州地区の日系化学品メーカーが多数参加しています。当社も参加しており、中国へ拠点を持つ各社との面識作りや情報交換の場となっています。歴代の駐在員でブービーメーカー賞は複数獲得していますが、いまだに優勝はありません。



グループ企業紹介

韓国大阪有機 化学工業株式会社

所在地：ソウル特別市衿川区加山デジタル2路135

設立：令和6年7月

従業員：2名(2024年11月現在)

主な事業内容：有機化学薬品関連商材の貿易・販売等



事業所紹介



向山 高広

韓国大阪有機化学工業
理事

当社の韓国拠点は2022年10月に韓国連絡事務所を開設していましたが、2024年7月に現地法人となる韓国大阪有機化学工業株式会社を設立しました。これにより、製品販売を含む営業活動が可能となりました。事務所の場所は、ソウル特別市内の加山デジタル団地というオフィス街の中にあり、ソウル中心部・空港など各方面へアクセスの良い場所です。

法人設立前から韓国にはすでにビジネスがあり、半導体・ディスプレイ・塗料などの用途で使われるアクリルモノマーや化粧品用材料を販売

しています。当社の強みは高純度で品質安定性が高いアクリルモノマーであり、これは今後も韓国国内でのハイエンド市場に合致すると考えており、さらに拡販できる余地があると考えています。当社はこれまで韓国に拠点がなかったため、顧客と直接会話できる機会は多くありませんでしたが、今後、顧客のニーズを素早く捉え、迅速に材料を供給する体制を構築することにより、販売増加、ひいては、大阪有機グループの海外売上増加に貢献していきたいと思っています。



地域との関わり

ソウル日本人会

韓国に拠点を持つ日系企業の集まりとして、ソウル日本人会(SJC)があり、約1,300人の登録者があり、韓国大阪有機としても加入しています。SJCは参加企業の分野により部会に分かれて活動しており、当社は化学部会に所属してい

ます。化学部会では主に韓国国内での法律/規制の改正などの情報共有や政府に対しての建議事項を話し合ったりしています。また、仕事以外にもサークル/同好会での活動も盛んであり、駐在員のコミュニケーションの場となっています。